



青武台だより

No.205

平成27年4月3日発行

目次

ページ

1. 新年度を迎えて
校長ほか 2~5
専攻主任から 6
第1学年学級担任から 7~9
2. 学園通信
本校に着任して 9
3. 平成27年度行事予定表
平成27年度行事予定表 10~11



独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校

National Institute of Technology, Fukui College

<http://www.fukui-nct.ac.jp>

新年度を迎えて



入学おめでとう

校長 松田 理

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

高専は、中学卒業後の早い段階から5年一貫の専門教育を行う高等教育機関であり、創造性豊かな実践的技術者を育成することが最大の使命であります。

福井高専は1965年に創立され、今年で50周年を迎えます。この間の卒業生ならびに専攻科修了生は7500名を優に超え、産業界や地域社会の様々な分野で活躍し、国内外から高く評価されています。これからも、自然環境や人間環境に配慮でき、国際性を有した技術者を育成すべく「優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する」を基本理念に学生教育を進めていきます。

この伝統ある福井高専に入学された皆さんに、本校での心構えについて述べさせていただきます。

第1に、「自学自習の習慣を身につけること」です。皆さんは、義務教育を終え自らすすんで技術者の道を歩もうとして入学してきたと思います。従って、教育を受ける「生徒」ではなく、学問を修める「学生」なのです。自らの主体性をもって様々な学友と協力して学ぶアクティブラーニングに心がけて欲しいと思います。

第2に、「自分を律すること」の重要性を指摘したいと思います。即ち、何が正しいのか、何が間違っているのかを社会規範に立って考え、たとえ一人であっても勇氣ある言行動をとって欲しいのです。仲間を大切にすあまり、付和雷同し軽佻浮薄な行動をとることのないようにしてください。どんな状況においても責任ある行動が求められます。福井高専に対する帰属意識と高等教育を学ぶ学生としての自覚と誇りを持ってください。

第3に、「個性を磨くと共に個性を尊重すること」です。個性とは、英語で言えばアイデンティティですが、これからのグローバル化の時代では、特に重要と言えます。専門分野の技術者として、また日本人として、コミュニケーション力を持って国際社会で活躍するためには、伝えるべき「知」の研鑽を積み、個性を磨くことが必要です。同時に、他人の個性も尊重して欲しいのです。キャンパスには様々な考え方の人間が集っています。勉強や課外活動等で意見が合わず衝突することもあるでしょう。しかし、その時に相手を無視したり、排他的になるのではなく、何を言っているのか、意図するところは何なのかをよく話し合い、理解するように努めましょう。他人に学ぶことは多く、お互いに認め合う心が大切なのです。それにより、人間的な幅が広がると共に個性にも磨きがかかると思います。また、お互いにわかり合えたことがきっかけで一生の友達になるかもしれません。学生時代に様々なことに挑戦し、議論し、また失敗を経験することで、人間として大きく成長することでしょう。この福井高専で、優秀な技術者人材としての基礎を築き、各人の持てる才能を开花させて欲しいのです。そのことが将来の日本を創る原動力になると考えます。

最後になりましたが、皆さんには高い倫理観を持った人間に育ってくれるよう期待するとともに、是非、君たちの夢の実現に向けて、頑張ってくださいと願っています。



新年度を迎えて



模倣 —フクロウとカワセミ—

教務主事 上島 晃 智

「フクロウとカワセミと新幹線」と聞いて、「あの話だね」とうなずいた人は、かなり鉄のに入った人（鉄道マニア）とお見受けする。

今から20年以上も前の話になりますが、初めて時速320キロを超えることを目指した新幹線車両開発の大きな課題の一つに騒音問題がありました。車体から突き出したパンタグラフの立てる音をどうやったら少なくすることができるかと皆が知恵を絞っていたとき、フクロウが音を立てずに獲物に近づくことができるのはなぜかと言う発想から、パンタグラフの滑らかな表面に風切り羽根をまねたギザギザの凹凸をわざとつけることで騒音を3割減らしました。また、トンネルに入るとき衝撃音（いわゆるトンネルドン）の低減には、カワセミが水に飛び込むときのくちばしからヒントを得た鼻先の形が使われています。この様な工夫を積み重ねることで、歴代の車両の中で最も美しいと言われる車体（500系）が誕生したのです。

生物は長い年月の中で進化と淘汰を繰り返し、結果として極めて合理的で無駄のないものだけが生き残っています。人はそこから本質的な意味を学び取り、それを技術として昇華させ応用することで、優れた成果を得たわけですが、学習の道筋もまた然り、まずは先人の模倣から始まり、その思考プロセスをなぞりエッセンスを学ぶ取ることによって新しいことやものを創り出してゆく素地を磨いてゆくのです。しかし、ここで本質を見ずにただ形だけまねれば、その時点で思考は止まり、いわゆる「パチモン」になってしまうわけで、これも極めればそれなりの価値はありますが、決してオリジナルを超えることはできません。

さて、人の有り様もまた同じように考えられるのではないのでしょうか。皆さんが本校で何を目指し、ここを卒業する時どこに目標を定めるのか、ぜひ試行錯誤を繰り返しながら自分なりの答えを見つけて欲しいと思います。人材から「人財」へ。一年のスタートを迎えるこの時期、ここで得た経験と知識を礎にして、余人を持って代え難しと言われ周りから頼りにされる人になっていただけることを心より願っています。



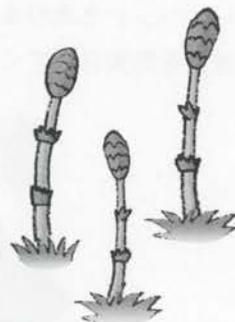
新年度を迎えて —日常の中の知的生産—

学年主事 藤田 克 志

梅棹忠夫氏の本を読んでいるとその発想の豊かさに惹きつけられ、圧倒されることがしばしばです。岩波新書の「知的生産の技術」もその一冊です。「知的生産」ということばは梅棹氏が作ったということですが、「知的生産」とは「頭をはたらかせて、なにかあたらしいことがら—情報—を、ひとにわかるかたちで提出すること」「かんがえることによる生産」を意味するという事です。

知的生産というと何だか特別な人々の特別な活動のように思えますが、上のような意味だとすると、これは学生諸君の普段の生活にもあてはまることばではないでしょうか。きみたちも日常生活で何かをするとき、情報を集め、整理し、頭を働かせ、こうしようと決め、それを他の人に伝え、行動をする、ということをやっていると思います。そう、ここでのポイントは「頭をはたらかせる」「かんがえる」ということではないでしょうか。

新年度を迎えて、学生諸君は前の学年はどうだったのか、今度の学年ではどのようにすることが必要なかをよくよく「かんがえ」て行動し、それぞれが充実した学生生活にして欲しいと思っています。



新年度を迎えて



新年度を迎えて

寮務主事 中谷実伸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入生、在校生に関わらず、皆さん期待と不安が入り混じった複雑な気持ちで新年度を迎えたかと思います。

さて、本校の学生寮「青武寮」に新たに入寮する寮生の皆さんを心から歓迎します。

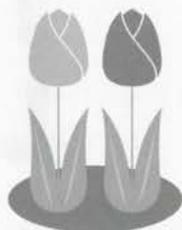
青武寮には、200名を超える寮生が日常生活を送るために必要となる、様々な施設が用意されています。

寮は、学校に近いだけでなく、先輩や同級生との交流の面などでも本当に恵まれています。この恵まれた環境を活かし、勉学や部活動などに励んでください。

ただ、寮にはたくさんの厳しい規則があります。多くの学生が共同生活を送る以上、当然のことです。自分の家同様に、自由に過ごすわけにはいきません。

このような寮生活を経た寮生は、社会へ出て立派に通用する人間に成長していると感じます。それはつまり、この寮が「教育寮」という側面を持っていることを意味します。寮生の皆さんには、その点をしっかりわきまえて、日々生活することを望みます。

その反面、寮祭など、寮生自身が中心となって企画を進める楽しいイベントもあります。是非積極的に参加して、寮生活を充実させてください。



オープンエンドな問題に 対処できる能力を身に付ける

専攻科長 阿部孝弘

18期生の皆さんの専攻科入学を歓迎します。皆さんは本科5年間で自分の得意とする技術分野、すなわち出身学科に関連する分野における知識と能力を身に付けてきました。専攻科ではその知識をさらに深化させるとともに、異なる技術分野の知識を積極的に吸収してください。

さて、今の技術者に求められている能力はオープンエンドな問題に対して解決案をその都度提示していく能力と言われています。オープンエンドとは「終わりが決められていないこと。」あるいは「途中で変更が可能なこと。」という意味です。新製品を開発したら、それで終わりではなく、次のニーズを探りだして新たな商品開発をしていかなければなりません。そのニーズには開発した製品の影響が出てくるはず。また、都市施設を建設したら、その施設によって人の動向に変化が生じ、次の都市計画を考えていかなければなりません。常に、次のことを考えていかなければなりません。そしてそれが現代社会をよりよくしていくことに繋がっていかなければなりません。

オープンエンドな問題に対処できる能力とは本校の学習教育目標にある「ものづくり・環境づくり能力」と同義であると言えます。ものをつくることによって環境が変化する。変化した環境を考慮して次のものづくりを考えるということです。

このような能力を身に付けるには、生涯学習するという意識を持ち、自己学習する必要があります。自己学習と言っても、自分一人ではなかなか身に付きませんから、人との対話、いわゆるコミュニケーションが重要となります。人の意見を自分で咀嚼して次の行動に結び付けるようになって下さい。

2年後にオープンエンドな問題に立ち向かうことができる人材となって社会に巣立ってください。我々は常に応援します。

学年はじめにあたって



図書館に来て、見て、
そして活用してみましょう!

図書館長 吉田 三郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。開校50周年を迎えた福井高専では、昨年春に図書館の改修も完成し、今までより明るく、一層利用しやすい環境となりました。新学期には図書館活用のオリエンテーションもありますが、本の好きな人はそれを待つ必要はありません。今日からでも足を運んでみてください。

高専の図書館は県内の大学や公立の図書館とのネットワークがあります。館内約11万冊の蔵書の利用だけでなく、情報検索を行うことで、たとえば読みたい書籍が福井市立図書館にあることがわかれば、高専のカウンターで申し込むだけで、わざわざ福井市に出向かなくても取り寄せてもらえます。また、高学年になって卒業研究などで専門の研究論文の検索が必要な際にも、その窓口にもなっています。

特色ある行事としては、各クラスの図書委員の参加のもと、年2回のブックハンティングを実施し、学生自らが読みたい書籍を直接購入する機会もあります。そのため、各学科の専門書や資格試験の勉強にも使える本、読みやすい洋書をそろえたコーナーの他に、今年話題になっている本まで学生の興味や関心に直結した書籍も書棚に見つけることができます。それらも是非見て確かめてください。

図書館には閲覧室の他に、パソコンコーナーやメディアコーナーなど、インターネット検索、DVDやBlu-rayソフトの鑑賞などできるスペースもあります。今まで知らなかった名画DVDのライブラリーにも発見があるかもしれません。

図書館は本来静かに読書、勉強を行なう空間ですが、数名規模の小グループでの試験勉強やレポート作成が行なえる部屋もあります。また2階のコミュニティホールでも、自由に組み合わせの出来るテーブルを活用している上級生の姿を見ることが出来ます。いかがですか。新入生の皆さんが、1日も早く、図書館を有意義に活用されることを願っています。



学年のはじめにあたり

学生相談室長 坪川 武弘

新年度を迎えるにあたり、新入学生の皆さんには入学おめでとうと申し上げます。また、在校生の皆さんは、新たな1年の目標をあれこれ考えながら迎えて欲しいと思います。皆さんがそれぞれ充実した1年となることを期待しています。

福井高専は学内に緑の多い学校ですが、近くに鯖江市の西山公園があります。この公園は江戸時代の終わり頃に鯖江藩の藩主が庭園として整備して一般に開放したのが始まりで、明治期に鯖江町が管理する形となり、現在まで市民に開かれた公園として親しまれてきたようです。最近、道の駅が出来て尾根に設けられている動物園までのアクセスが楽になりました。私には楽ですが、運動部の人はもちろん坂を駆け上がって下さい。

さて、学生相談室は学生の皆さんの様々な相談に応じる高専生活を支援する組織です。勉強、家族・友達との付き合い、自分の性格や適正などなど悩むことや考えがまとまらないことがあると思います。そういうときに気軽に相談室をたずねて下さい。また心身の健康に不安があるときは保健室を利用して下さい。学生相談室と保健室は学生食堂のある福利厚生棟の2階にあります。相談室には専門のカウンセラーと3名の教員が交代でいます。保健室には看護師さんが2名常駐しています。

西山公園の動物園は希少種のレッサーパンダの繁殖に成功している全国でも有名な動物園です。飼育係の方が親切で動物に関する質問には何でも答えてくれます。私たち相談室の教職員も皆さんの多くの悩みに耳を傾けたいと思っています。

新年度を迎えて

新入生を迎えて

専攻主任から



〇引き出しを増やしましょう〇

生産システム工学専攻主任
芳賀 正和

専攻科ご入学おめでとうございます。専攻科で過ごす期間はわずかではありますが、有意義な2年間となるよう、積極的に活動されることを期待します。

さて、専攻科の特徴の一つとして、様々な出身学科の学生がチームを組み、技術的な課題に挑戦する科目がいくつか用意されています。色々な考え方をする学生がアイデアを出し合って解決策を探る経験は、社会で活躍するときに、きっと役に立つと思います。

また、専攻科では、様々な分野の科目が開講されており、その中から受講する科目を選択することができます。自分の専門と異なる分野を学ぶことは、視野を広げることになり、様々な問題に対応する能力を養うことになります。社会に出て必要に迫られたときに専門外の知識を得るのは大変です。時間的な問題もあるでしょうし、知識が豊富で親切に教えてくれる人がなかなか見付けられないと思います。

専攻科在籍中に様々な分野に積極的に触れてみてはいかがでしょうか。自分の引き出しを増やしましょう。



〇三つの提言〇

環境システム工学専攻主任
高山 勝己

入学おめでとうございます。この機会に私から皆さんに三つの提言があります。

一つ目は、学ぶ事に対して自発的であって欲しいということです。であるならそこには常に喜びが伴うからです。強いられて行う事は全て苦痛となります。学ぶ事に積極的に興味をもって取り組んで欲しいです。二つ目は、これからの二年間を単なる本科からの延長として位置付けないで欲しいということです。必死に学び、自らの能力向上に努めて欲しいです。創造的仕事とは、基本的かつ豊富な専門知識と技能の上に成り立つものであるということを肝に銘じてください。三つ目は、ビジョンを持って欲しいということです。自分の向かう将来に対して明確な方向性を持つことです。確固たる目的意識をもって過ごしてください。

二年後の今頃には、地球的視野を持った実践的エンジニア候補生としてさらに成長した皆さんの姿を見ることが楽しみでなりません。



新年度を迎えて

新入生を迎えて

学級担任から



新入生の皆さんへ

F1クラス担任
宮本友紀

ご入学おめでとうございます。皆さんは今、高専で始まる新しい生活に期待や不安入り混じった様々な思いを抱いていることと思います。中学校とは随分勝手が違いますから慣れるまでは戸惑ったり違和感を覚えたりするかもしれません。けれど卒業するときには皆さんそれぞれがしっかりとこの学校から学べるものを学び、しっかりと得るものを得て旅立っていってくれることを切に願っています。

そのためにまずは生活の基本的なことがしっかりできることが大切です。挨拶をちゃんとすること、電話・メール・line等コミュニケーションツールは自分なりの節度とルールをもって使いこなすこと、先生や家族、友人など敬意と感謝をもって接すること、公共の施設や物品は他の人のことも考えて丁寧に使うこと（故に掃除もしっかりすること!）、学生の本分は勉学であることを常に忘れないこと、地味に感じるかもしれませんが、全て本当に大切なことばかりです。

皆さんの先輩方のほとんどが5年間は本当にあっという間だった、と言っています。まず初めの貴重な1年間、どうぞ大切に過ごしてください。



新入生の皆さんへ

F2クラス担任
相場大佑

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる福井高専での生活に、期待と不安で胸がいっぱいのことと思います。私自身も昨年4月に福井高専に赴任したばかりで、少しは慣れてきたかな?というところでの初めての担任です。担任という意味では、私もみなさんと同じ新一年生ですので、色々頼りない面もあるかもしれませんが、みなさんがより充実した学生生活を送ることができるよう、しっかりと支えていきたいと思っています。

高専は高校とは異なり、卒業するまでに5年間かかります。5年間と聞くと長く感じるかもしれませんが、実際に高学年の学生と話をしてみると、長いようで短かったという声が多く聞かれます。初めのうちは、高専での生活に慣れるということであっという間に時間が過ぎてしまうと思いますが、一日でも早く自分なりの生活のリズムを確立して、勉強・部活動などに一生懸命取り組み、後悔することがないように充実した5年間を過ごしてください。そして、5年後には立派に成長した若きエンジニアとして社会へ飛び立ち、活躍することを期待しています。



新年度を迎えて



○ 学生生活は一度きり ○

F3クラス担任
藤田 卓郎

「人生にリハーサルはありません。ベストを尽くすチャンスは一度しかないのです」とは、少し前にベストセラーになった『20歳のときに知っておきたかったこと』という本の著者である、ティナ・シーリング女史の言葉です。福井高専では5年間、専攻科に進学するとさらにもう2年間を過ごします。5年間と聞くと長い時間を想像しますが、卒業時に振り返ったとき、きっと多くの人があつという間に過ぎ去ったと思うことでしょう。何事にも情熱をもって挑戦し、一度しかない学生生活を充実させてください。

さて、福井高専では一般科目、専門科目に加えて習得しなければならない重要なことがもう一つあります。それは、社会人になるための素養です。例えば挨拶、身だしなみ、道徳心、礼儀、マナー、言葉遣いといったものです。いくら優れた技術や知識を習得しても、上のような素養がなければ優れた技術者、社会人とは認められないでしょう。入学当初の気持ちや謙虚さを忘れずに、学生生活に励むよう心がけましょう。

皆さんの福井高専への入学を心より歓迎いたします。一緒に頑張りましょう。



○ 焦らずゆっくりと進もう ○

F4クラス担任
柳原 祐治

4月に本校での学校生活の第一歩を踏み出し、さらに少しだけ歩いてきた君達は、今、様々なことを感じ、考えていると思います。新しい学習生活や人間関係に対して、大きな希望や期待を持っている人が大勢いる一方で、戸惑いや不安を感じている人もいます。さらには、「授業についていけるのだろうか？」など、様々なことに焦りを感じている人や、自信をなくしかけている人もいるかもしれません。しかし私は、君達に対し、「心配したり、焦ったりする必要は全くない」と言いたい。なぜならば、人間は、時間と共に変化していくものだからです。また、若い君達には、これから十分な時間があります。ですから、苦手を感じている教科も、そのうち面白く感じてくるかもしれませんし、苦手を感じている先生やクラスメイトが、苦手でなくなるかもしれません。とにかく、結果を気にせず、自分の足で、自分のペースで、焦らず、ゆっくりと歩いてみて下さい。人と違ってもし気にしないで下さい。とりあえず歩き始め、歩きながら考え、悩んでみて下さい。その「歩み」そのものを楽しんでみて下さい。私も、君達それぞれの歩き方を、焦ることなく見つめていきたいと思っています。



新年度を迎えて・学園通信



学習と遺伝

F5クラス担任
山本 裕之

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこれからの高専生活に期待や不安でいっぱいのことと思いますが、これからの5年間はしっかり学習することが一番大切な時です。特に遺伝的にはこの時期にしっかり学習することが必要なのです。

動物行動学(エソロジー)という学問分野がある。その中で動物の学習は遺伝とどのような関係にあるかが、長い間わからなかった。ところがその後、鳥の研究からわかってきたことは、どのような時期にどのように学習するかということが遺伝的に決まっていることだった。たとえば、鳥のさえずりは学習しなさいと遺伝的に決められている。だから学習しないとまったく歌えない鳥になってしまう。その学習も孵化して、一か月ぐらいの間にしなさいということが遺伝的にプログラムされており、その時期を逃すと、やはり歌えないこともわかった。さらに、その時に違う鳥の声を聞かせても、関心を示さず、親のさえずりを聞かせてやると、今度は一生懸命聞き、学習するのである。つまり、ウグイスのヒナにカラスの鳴き声を聞かせても、ウグイスはカァーカァーとは鳴かないのである。お手本の鳴き声がか何かということも遺伝的なプログラムで指示されているのである。このように学習することは遺伝的プログラムで決められていて、どの時期に、何をお手本にするかということまで決まっている。だが、学習がないと遺伝的プログラムは具体化されないのである。

我々ヒトも基本的には同じではと、以前から思っている。運動についてはわかりやすく、たとえば自転車に乗る練習やキャッチボールする動作などについては、小さいときに訓練しないと、大きくなってからは習得することはなかなか難しいようである。また言語などもそうであり、小さい頃の習得が絶対必要である。ヒトの場合複雑ではあるが、やはり鳥と同じで、年齢に応じた学習を必要とし、このこと

によって遺伝的プログラムが具体化されている。その遺伝的学習プログラムは20歳頃までで一応は完了するのではないかと私は思っている。だから、この高専5年間で皆さんにとって非常に大事な時期なのです。この期間を逃すと手遅れになってしまう。そうならないようにするためにも、これからしっかり勉強することを切に望みます。そして、5年後の春には、皆さんの美しい上手なさえずりが聞けることを楽しみにしています。



本校に着任して

環境都市工学科
樋口 直也

平成27年2月1付けで環境都市工学科 助教に着任しました樋口直也と申します。まずは自己紹介をさせていただきます。私は静岡県出身で、今年1月までは石川県の構造設計事務所に勤務しておりました。前職では、住宅から大規模建築物まで様々な物件の構造設計や、積算、耐震診断・補強計画、現場監理補助など、いわゆる建設業界の現場業務を経験してきました。

さて、本校に着任して、2か月が経とうとしています。赴任当初は、暴風雪で一面が白く、かつ、見知らぬ土地で不安で仕方ありませんでしたが、最近では、周りの教職員の方々、学生の皆さんに助けられ、少しずつ福井工業高等専門学校の生活に慣れてきたのではないかと思います。

今後の抱負としては、本校の教員として、これまでに培った実務経験を授業というかたちで表現し、学生の皆さんが何のための勉強なのか実感できるよう努力していきます。また、他機関との共同研究などにも携わり、学生に新しい視野に触れる機会を作ってあげたいと考えています。

私は、教員・研究者としては新米です。そのため、わからないことばかりですが、一歩ずつ着実に前に進んでいきたいと考えております。皆様のご指導のほどよろしくお願い致します。

平成27年度行事予定表

◆◆◆ 平成27年度 行事予定表 (前期) ◆◆◆

4 月		5 月		6 月	
1 水	春季休業(～4日)	1 金	休業(昭和の日の代替)	1 月	
2 木		2 土	専攻科ホームカミングデー	2 火	
3 金		3 日	憲法記念日	3 水	体育祭が4月30日実施の場合金曜日の授業
4 土	入寮式(10:30) 新入生オリエンテーション(11:00) 開寮(14:00)	4 月	みどりの日	4 木	体育祭が4月29日実施の場合金曜日の授業
5 日	入学式(10:00) 教育後援会総会(12:00) 保護者懇談会(13:30)	5 火	こどもの日	5 金	休業(予備日) 高校春季総体県予選 大学院研究室訪問(専攻科1年)
6 月	一斉健康診断(本科・専攻科) 専攻科オリエンテーション 2～5年HR 課題確認テスト 教科書販売(13:00)	6 水	振替休日	6 土	高校春季総体県予選
7 火	前期授業開始	7 木	授業終了後HR大掃除(キャンパスウォーク準備)	7 日	高校春季総体県予選
8 水		8 金	(キャンパスウォーク準備)	8 月	
9 木	放課後:クラブ紹介	9 土	キャンパスウォーク	9 火	午前:授業(火曜日午後の授業) 午後:休講
10 金		10 日		10 水	前期中間試験
11 土		11 月		11 木	前期中間試験
12 日		12 火		12 金	前期中間試験・前期中間まとめ
13 月		13 水		13 土	
14 火	新入生オリエンテーション合宿	14 木		14 日	
15 水	新入生オリエンテーション合宿	15 金		15 月	前期中間試験
16 木	放課後:新入生歓迎会	16 土	寮祭 舞鶴高专交歓試合	16 火	前期中間試験・前期中間まとめ(特別活動・卒研を含む)
17 金		17 日	寮祭	17 水	
18 土		18 月		18 木	
19 日		19 火		19 金	
20 月		20 水		20 土	
21 火		21 木		21 日	
22 水		22 金		22 月	
23 木	放課後:校長表彰・校長訓示 学生総会	23 土		23 火	
24 金	開校記念日	24 日	専攻科推薦選抜	24 水	
25 土		25 月		25 木	壮行会
26 日		26 火		26 金	
27 月		27 水		27 土	北陸地区高専体育大会(ラグビー)(石川高専)
28 火	午後:休講 体育祭準備	28 木		28 日	専攻科学力選抜
29 水	(昭和の日) 体育祭(延期の場合は 短縮授業)	29 金		29 月	
30 木	(体育祭予備日)	30 土		30 火	
備考		備考		備考	
7 月		8 月		9 月	
1 水		1 土		1 火	
2 木	在学生保護者対象授業参観	2 日		2 水	
3 金	在学生保護者対象授業参観	3 月		3 木	
4 土		4 火		4 金	
5 日	北陸地区高専体育大会(野球、陸上競技)(石川高専)	5 水		5 土	
6 月		6 木		6 日	
7 火		7 金	短縮授業 (キャンパスツアー準備)	7 月	
8 水		8 土	夏季休業(～9/23) キャンパスツアー	8 火	
9 木		9 日	開寮(14:00)	9 水	
10 金		10 月		10 木	
11 土	北陸地区高専体育大会(石川高専)	11 火		11 金	
12 日	北陸地区高専体育大会(石川高専)	12 水		12 土	
13 月		13 木		13 日	
14 火		14 金		14 月	
15 水		15 土		15 火	
16 木		16 日		16 水	学力強化週間
17 金		17 月		17 木	学力強化週間
18 土	編入学試験 保護者会総会・保護者懇談会(学生寮)	18 火		18 金	学力強化週間
19 日		19 水	全国高等専門学校体育大会	19 土	
20 月	海の日(予備日)	20 木	全国高等専門学校体育大会	20 日	
21 火		21 金	全国高等専門学校体育大会	21 月	敬老の日
22 水		22 土	全国高等専門学校体育大会	22 火	国民の祝日
23 木	月曜日の授業	23 日	全国高等専門学校体育大会	23 水	開寮(10:00) 秋分の日
24 金	本科期末試験 専攻科休講 専攻科オリエンテーション	24 月	全国高等専門学校体育大会	24 木	本 科:後期授業開始 0時目 SH-R 専攻科:後期授業開始 0時目 後期ガイダンス (0時目 8:50-9:15, 1時目 9:20開始 以降20分ずつ後ろ倒し)
25 土		25 火	全国高等専門学校体育大会	25 金	
26 日		26 水	全国高等専門学校体育大会	26 土	
27 月	本科・専攻科期末試験	27 木	全国高等専門学校体育大会	27 日	
28 火	本科・専攻科期末試験	28 金	全国高等専門学校体育大会	28 月	
29 水	本科・専攻科期末試験	29 土	全国高等専門学校体育大会	29 火	
30 木	本科・専攻科期末試験	30 日	全国高等専門学校体育大会	30 水	
31 金	本科・専攻科期末試験 試験終了後HR大掃除 救命救急講習会	備考		備考	

平成27年度行事予定表

◆◆◆ 平成27年度 行事予定表 (後期) ◆◆◆

10 月			11 月			12 月		
1	木	防災訓練	1	日		1	火	後期中間試験
2	金	(キャンパスリサーチ準備)	2	月		2	水	後期中間試験
3	土	キャンパスリサーチ	3	火	文化の日	3	木	後期中間試験・後期中間まとめ(特別活動・卒研を含む)
4	日	東海北陸地区高等専門学校ロボットコンテスト(沼津高専)	4	水		4	金	水曜日の授業
5	月		5	木		5	土	
6	火		6	金	午前の特別短縮授業 8:50開始 午後休講、50周年記念式典(クラシックコンサート)	6	日	
7	水	休講 球技大会 保護者懇談会	7	土		7	月	
8	木	専攻科生校外発表(北陸技術交流テクノフェア)	8	日		8	火	
9	金	専攻科生校外発表(北陸技術交流テクノフェア)	9	月		9	水	
10	土		10	火		10	木	
11	日	全国高等専門学校プログラミングコンテスト(長野高専)	11	水	在学生保護者対象授業参観	11	金	
12	月	体育の日 全国高等専門学校プログラミングコンテスト(長野高専)	12	木	在学生保護者対象授業参観	12	土	
13	火	月曜日の授業	13	金		13	日	
14	水	(弁論大会の準備)	14	土	全国高専デザインコンペティション(和歌山高専)	14	月	
15	木	休講 午前:弁論大会 午後:高専祭準備・クリーン大作戦	15	日	全国高専デザインコンペティション(和歌山高専)	15	火	
16	金	休講 高専祭	16	月		16	水	
17	土	高専祭	17	火		17	木	
18	日	高専祭	18	水		18	金	
19	月	休講・高専祭後始末 午後:校外実習発表会	19	木	午前授業・午後休講(50周年記念講演会)	19	土	
20	火		20	金		20	日	
21	水		21	土		21	月	
22	木	放課後:専攻科インターンシップ報告会	22	日	全国高等専門学校ロボットコンテスト(国技館)	22	火	天皇誕生日
23	金		23	月	勤労感謝の日	23	水	
24	土	大学・大学院合同説明会	24	火		24	木	授業終了後HR大掃除
25	日		25	水		25	金	冬季休業(~1/6)
26	月	3年研修旅行	26	木	休業(予備日)	26	土	開寮(14:00)
27	火	3年研修旅行	27	金	後期中間試験・後期中間まとめ	27	日	
28	水	遠足(1、4年) 校外研修(2年) 交流会(5年) 専攻科交流会(1、2年) 3年研修旅行	28	土		28	月	
29	木	3年研修旅行	29	日		29	火	
30	金	3年研修旅行	30	月	後期中間試験	30	水	
31	土	社会人特別選抜	31	火		31	木	
備考			備考			備考		
1 月			2 月			3 月		
1	金	元日	1	月		1	火	休業
2	土		2	火		2	水	休業 本科5年卒研発表
3	日		3	水		3	木	休業 本科5年卒研発表 5年HR 特別学習(低学年)
4	月		4	木	休業(予備日)	4	金	休業 キャリア教育セミナー(予定)
5	火		5	金	午前:午後の授業 午後:休業 午後:専攻科特別研究II発表会	5	土	開寮(14:00)
6	水	開寮(10:00)	6	土		6	日	
7	木	授業開始	7	日		7	月	休業
8	金	月曜日の授業	8	月	本科期末試験 専攻科1年期末試験	8	火	休業
9	土		9	火	本科期末試験 専攻科1・2年期末試験	9	水	休業
10	日		10	水	本科期末試験 専攻科1・2年期末試験	10	木	休業
11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	金	休業
12	火		12	金	本科期末試験 専攻科1年期末試験	12	土	
13	水		13	土		13	日	
14	木	午前:休業、国立高等専門学校学習到達度試験(3年) 午後:授業	14	日		14	月	休業
15	金		15	月	本科期末試験 専攻科1年期末試験	15	火	休業
16	土		16	火	本科期末試験	16	水	休業
17	日	推薦選抜検査日	17	水	試験返却・解説	17	木	休業
18	月		18	木	試験返却・解説	18	金	卒業・修了式
19	火		19	金	試験返却・解説	19	土	
20	水		20	土	試験返却・解説終了後HR大掃除	20	日	
21	木	放課後:校長表彰・校長講話 学生総会	21	月		21	月	春分の日
22	金		22	火	学力選抜検査日	22	火	学年末休業(~3/31)
23	土		23	水	休業	23	水	
24	日		24	木	特別学習・試験返却・解説	24	木	
25	月		25	金	特別学習・試験返却・解説	25	金	
26	火		26	土	特別学習	26	土	
27	水		27	日	特別学習	27	日	
28	木	放課後:専攻科特別研究I発表会	28	月		28	月	
29	金		29	火		29	火	
30	土		30	水	特別学習	30	水	
31	日		31	木		31	木	
備考			備考			備考		

平成26年度卒業式 及び 学生表彰風景

